

みんなで何でもできる公園をつくろう

ひとはくと有馬富士公園との連携

兵庫県立有馬富士公園は、兵庫県三田市に平成13年開園しました。176haの大規模な公園で年間約80万人が訪れる人気の公園です。ひとはくは、住民参画型運営をめざす公園を開園の1年前から支援しています。運営をバックアップするために関係者で構成された協議会の会長は中瀬館長であり、研究員が協議会メンバー、部会メンバー等の立場で継続的に伴走しています。

多様な夢プログラム

住民が公園運営に関わるきっかけづくりのしくみとして夢プログラムがあります。住民グループが企画し、実施するプログラムで、自然観察からコーラスまで多種多様なプログラムが実現しています。住民の多様な達人技が行政や専門家だけでは発想できなかったプログラムを実現させています。住民の創意・工夫と行動力、協議会やパークセンターの支援があれば「みんなで何でもできる公園」は実現します。

公開セミナー

夢プログラムを通じて、来園者を楽しませようとするメンバーの存在を多くの若者に知ってもらい、夢プログラムを企画・実施する体験してもらう公開セミナーを高校生や大学生を対象に実施していました。講師は夢プログラムメンバーです。

まちづくりへ

開園から10年以上経過し、公園で地域の課題を解決しようという挑戦をしています。子育て支援、健康づくり、観光資源…様々な可能性があります。一歩ずつですが、みんなに有馬富士公園があつてよかつたなあとと思われることが目標です。



みんなで何でもできる公園をつくろう in 有馬富士公園

代表者：藤本 真里

分担者：中瀬 勲, 服部 保

協力者：有馬富士公園運営・計画協議会 他

財源：兵庫県阪神北県民局委託研究